

日本共産党福生市委員会は、下記の見解を発表しました。

福生民報

おくとみ喜一活動地域版

2017年2月号 No.007

発行 日本共産党福生市委員会
責任者 中村頌一 福生市武蔵野台 2-14-29
連絡先 奥富喜一 090-8955-2831
池田公三 090-7946-5137



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

元自民市議が共産党衆院候補に 野党共闘で安倍政権倒す

静岡県掛川（かけがわ）市の元自民党市議・松浦きよしさん（59）は、日本共産党に入党して約1年半。

現在、日本共産党の衆院静岡3区候補として、「市民と野党の共闘で安倍政権を必ず倒そう」と熱く訴えています。 2017/2/4 しんぶん赤旗3面より（伊藤幸）



民主党のメンバーらとともに、野党共闘で安倍政権の打倒を訴える松浦候補（右）＝静岡縣掛川市

松浦きよしさん 衆院静岡3区

松浦さんは、1995年から2003年までの2期8年、掛川市議を務めました。

保守が強い地域で身近に自民党国会議員もいたため、当然のように自民党会派に所属。国政でも県政でも自民党の選挙活動をずっとやってきました。しかし、憲法9条があるのに解釈をねじまげ自衛隊の活動を広げていくことなど、自民党政治には矛盾も感じていました。

議員を辞めた後、自民党の活動から少し離れ、太陽光発電設備会社の経営を始めた松浦さん。



戦争法危ない

安倍政権になり、集団的自衛権行使容認の閣議決定、安保法制＝戦争法の強行へと暴走し始めたことに強い危機感をいだきます。

「専守防衛といってきた自衛隊が、地球の裏側まで行って戦闘行為ができるというのは絶対におかしい」。ほとんどの憲法学者が違憲だと言っても数の力で暴走する安倍政権を見て、「もう自民党にはついていけない」と思いました。

自民党の中にも、「おかしい」という声があったはずだと、自民党県議や市議に直接聞きました。ところが「戦争なんかするわけがない」との返事。「自民党の中にも筋が通った人がいたはず。しかし、物を言える政治家が党内にいなくなってしまった。過去の戦争を始めたときに近づいているのでは」と感じました。

2015年春、松浦さんは約30年続けてきた自民党から離党しました。

同年7月、松浦さんは共産党に入党します。入党を呼びかけたのは、近所に住む共産党国会議員団静岡県事務所長の松浦敏夫所長（64）。松浦所長は「自分が2014年の衆院選に出たときも応援してくれ、戦争法の問題などで一致していたので、声をかけようと思った」と言います。

自民党を離党した松浦さんは市議時代、共産党と敵対関係でしたが、「ダメなものはダメ」と国民のために物が言える政党だと感じていました。「共産党は、市民が主人公の政治姿勢を崩さず100年近い歴史もある。国民の意見を聞かず数の力で暴走する安倍政権に政治を任せてはおけない」と入党に迷いはありませんでした。 ※裏面につづく

決意の思い街頭で語る

候補者となった松浦さん。街頭では、自民党市議だった自分が共産党に入った思いを語り、「日本共産党は野党と共闘し安倍政権を必ず倒します。安保法制を廃止し、格差と貧困を正し、みなさんが生活しやすい、子育てしやすい社会をつくりたい」と訴えています。

長男も入党し

松浦さんの4人の子どものうち長男の大悟さん(25)も共産党に入党しました。父とは以前から政治について議論してきました。「集团的自衛権の閣議決定のとき、父は『絶対におかしい』と話していて、自分も立憲主義に反していると思った」と言います。安保法制の廃止、原発反対や教育の問題など共産党の考えに共感し昨年秋に入党しました。「政治をよくするために野党共闘で大きな敵を倒したい。党にもっと若い人を増やし、この地域に青年支部をつくりたい」と語っています。

同じ3区内の菊川市では、自民党議員だった横山隆一さん(64)が今度は共産党市議として当選したばかりです。松浦さんは、「われわれ2人が自民党から共産党に入ったのは偶然ではないと思う。同じように今の自民党についていけないという保守の人がたくさんいるはず。そういう人たちにも、もっと党の声を届けたい」と話しています。

静岡・菊川市議横山隆一さんのビラに反響 「住民が主人公こそ私の道」 自民党をやめなぜ共産党議員に 2017/02/04 4面より

1月22日投票の静岡県菊川(きくがわ)市議選で元自民党市議の経歴をもつ横山隆一さん(64)が日本共産党議員として初当選しました。横山さんが選挙戦で配布した菊川民報「なぜ私が共産党に入ったのか」が反響を呼びました。

民報では「隆ちゃ(横山さん)は自民党じゃなかったのか?」「共産党で大丈夫か」など寄せられた疑問に対し、日本共産党に入党した横山さんの思いを紹介しています。

3期務めた議員時代は、議員になれば自民党に入ることが当たり前と、自民党会派に所属。しかし数を頼りに首長に「なんでも賛成」という自民党議員のあり方に、「これでいいのか」との思いが胸につかえる毎日でした。

日本共産党の田島允雄(ちかお)市議らとともに議会や議員のあり方を討議してきたこともあり、2期目には、共産党や有志議員とともに「議員報酬引き上げ反対」「費用弁償廃止」など県下初となる「議会基本条例」を実現させました。

浜岡原発にプルサーマル計画が浮上したとき、「危険極まりない」と有志議員とともに反対を貫きましたが、1人差で強行されてしまいます。このとき自民党離党を決断し無所属議員となった横山さん。他の議員にも離党を呼びかけ、4人で無所属会派をつくり「是々非々」を貫いてきました。

議員を辞めた後の2015年の9月、安倍政権による安保法制強行を契機に、「このままでは戦後守り続けてきた憲法も平和も壊されてしまう」と考えるようになりました。田島市議に入党を訴えられ、議員時代の「自民共産党議員」と冷やかされた思いも胸によみがえり、『住民が主人公』こそ自分の歩む道」と日本共産党への入党を決意した思いがつつられています。

ビラを読み、毎日事務所に来て「赤旗」やJCPマニフェストを熟読する人や、「気持ちがよく分かった」「俺も隠れ共産党になった」と演説会での弁士を引き受ける人も現れました。これまで共産党と関わりがなかった人に支持や協力を広げる力になりました。